
環境保健学特論（令和7年度は開講しません）

Environmental Health

1 年次前期・選択

2 単位・30 時間

【概要・目標】

生活環境、労働環境に焦点を当て、物理的要因、化学的要因のみならず、社会的要因を含めて、心身両面にわたる健康障害の発生要因についての基礎知識を学ぶ。また、健康増進の基礎はライフスタイルの改善に依存していることが多いので、健康の基本である栄養、運動、休養に関するライフスタイルの基礎的知識と具体的にそれが実践できる方法を学ぶ。さらに、公衆衛生学的な面から、健康障害を予防するあるいは健康を増進する活動の計画策定方法や評価法を学ぶ。

【授業内容・スケジュール】

- 1) 環境と適応
- 2) 公衆衛生活動の基本概念
- 3) 4) 環境保健（大気、水）
- 5) 6) 産業保健（職業病、健康管理）
- 7) 8) 生活習慣病
- 9) 10) 精神保健
- 11) 食品衛生
- 12) 国民栄養
- 13) 14) 保健医療とその活動
- 15) まとめ

【評価】

講義は主として講義形式であるが、演習も取り入れる。

評価方法は、受講態度（10%）、レポート（20%）、筆記試験（70%）で、総合的に判断する。

【テキスト】

特に指定しないが、参考推薦図書その他を適宜活用する。

【推薦参考図書】

厚生統計協会：厚生指標臨時増刊 国民衛生の動向、厚生統計協会、2019/2020 版

岸玲子 他：NEW 予防医学・公衆衛生学 改訂第3版、南江堂、2012

【その他】

連絡先：